

## 2. 学部授業科目

授業科目名 (英語表記)	ポストコロナ社会の心身と暮らしを考える (Thinking about Mental-Physical Health and Life in the "Post-Covid19 Society")		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	阿部 秀二郎、金川 めぐみ、藤田 和史、小関 彩子、片渕 美穂子、本村 めぐみ		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 10月8日(土) 13:00~17:00	第4回 : 11月5日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月15日(土) 13:00~17:00	第5回 11月12日(土) 13:00~17:00	
	第3回 10月22日(土) 13:00~17:00	第6回 11月26日(土) 13:00~17:00	
<b>【授業の概要・ねらい】</b>			
<p>私たちはこの2年、100年に1度と言われる新興感染症のパンデミックを経験しました。先のパンデミックとして有名なのは100年前に大流行した新型インフルエンザ(スペイン風邪)でした。そのパンデミックを経験して、私たち人類の生き方、考え方、心身の御し方、そして社会経済のあり方と、多様な側面が変化してきたことは言うまでもありません。この授業では、パンデミック後の世界において、私たちの心身や暮らしがどのように変化し、その中で私たち自身の有り様をどのようにしていくのかを、3つの視点から検証していくことを目的とします。</p> <p>1つ目は、新型コロナウイルスのパンデミックが私たちに及ぼした影響を、社会経済状況の変化や人々の思想の変化をヒントに、その様子を確認していくことです。新型コロナウイルスの長い時間は、良くも悪くも私たちの社会制度や思想に影響を及ぼしました。これらの影響内容を私たちが適切に把握することにより、ポストコロナ社会がどのようになるのか、それに向き合う姿勢をあらためて確認できることになるでしょう。</p> <p>2つ目は、新型コロナウイルスのパンデミックが、私たちの心身に具体的にどのような影響を与えたかです。心の健康や身体の健康からみたコロナ禍の状況を冷静に確認することにより、私たちは心身ともに新型コロナウイルス感染症だけでなく、今後出現する新興感染症とどのように向き合うのかという間について考えることができます。</p> <p>3つ目は、新型コロナウイルスのパンデミックは、私たちを取り巻く関係性、より具体的に言えば家族関係やセーフティネットに影響を与えました。ポストコロナ社会において、どのような家族関係やセーフティネットを指向していくのか、それについて改めて確認していきたいと思えます。</p>			
<b>【授業計画】</b>			
<p>第1回 ポストコロナ社会における哲学 小関 彩子 (教育学部准教授)</p> <p>第2回 「こころとからだを調えるポディワークーポストコロナ社会における健康のために」 片渕 美穂子 (教育学部准教授) *実技を伴います。</p> <p>第3回 ポストコロナ社会における福祉から社会的包摂を考える 金川 めぐみ (経済学部教授)</p> <p>第4回 ポストコロナ社会における家族関係 本村 めぐみ (教育学部准教授)</p> <p>第5回 精神疾患という視点からこころの健康を考える 岩谷 潤 (東京医科大学医学部兼任助教) ゲストスピーカー 角谷 久美子 (地域活動支援センター櫻 ピアサポーター) 中野 千世 (地域活動支援センター櫻 管理者・相談支援専門員)</p> <p>第6回 事情の変化がもたらす心身と暮らしへの影響の可能性 阿部 秀二郎 (経済学部教授)</p>			
<b>【到達目標】</b>			
<p>コロナ禍における「社会制度・思想」、「心の健康・身体の健康」、「家族・福祉」に関する知識を得て、自分の考えを述べ、ポストコロナの時代における自身の御し方・あり方について自分なりに説明することができる。</p>			
<b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>			
<p>レポート80% 各担当者がレポートの課題・テーマを設定し、授業時間中に説明します。授業への積極的な参加度合い20%。</p>			
<b>【教科書】</b>			
<p>特にありません。授業の中で、資料を配布します。</p>			
<b>【参考書・参考文献】</b>			
<p>授業の中で適宜紹介します。</p>			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b>			
<p>授業中、ディスカッションの時間を多くとりたいと思います。参考書などを利用して予習をし、積極的に参加してください。</p>			
<b>【履修する上で必要な事項】</b>			
<p>特になし。</p>			
<b>【授業時間外学修についての指示】</b>			
<p>授業後、内容の復習をしっかりと行ってください。予習課題を必要とする場合には、担当講師から事前に連絡します。</p>			
<b>【授業理解を深める方法】</b>			
<p>この授業は本学のアクティブラーニング実施要項の下記に相当します。 学生による発表をともなう学習、複数の領域にまたがる解法を必要とする学習、グループワークをともなう学習</p>			